

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビルディング

2号館10階



第73版

理念と実践で
絆を結びます

安心の繋がり

熊本県の新明保育園様にお伺いしました。皆で「丸」になる保育園」を目指しており、笑い声が絶えず楽しそうな雰囲気印象的な園様です。

職員は総勢30名弱。そんな中、昨年7名の方が産休に！園長先生の心の内は、喜びの一方で、運営面から考えると経験を積まれた職員が次々と休みに入ることに、正直不安もあったようです。しかし、そこは大事にしている「理念」を軸に、園長先生から若手職員にいたるまで、先生同士協力し合って、子どもや職場を守り、ピンチをチャンスに乗り越えられたそうです。今では産休明けの先生たちも徐々に戻ってくる中で、「一緒に楽しんで保育をされ、また「こんな時だからこそ、一人ひとりの力が一滴も残すことなく合わさること、一つの力に変えていって

る」と仰います。

女性に子どもができると、なかなか職場に戻ってきづらい…という話は、保育業界に限らずまだまだ耳にします。

やはり人と繋がりを大切にしている園だからこそ、先生同士の思いやりが優先され、安心して戻ってこられる環境となっているのかも知れません。まさに、子どもだけでなく、先生にとってもふるさとのような、戻ってきたい場所になっていることを感じます。

先生たちの安心が子どもの安心に繋がるのと同じく、私たちも思いやりを優先した安心感のある職場づくりを大事にして、お客様の安心へと繋がっていったらと思います。



「見守る」を意味する園マーク。この親子像のように、いつまでも子どもたちの育ちを見守り応援し…やがて大人になってもずっと繋がってほしいという思いが込められています。

みんなが福になる

大阪の和泉市にあります。認定こども園Kidsまゆみ様にお伺いしました。

職員室へ入ると、ひとときわ目につく「王冠のツリー」がありました。職員の皆様にお聞きすると、「うちでは誕生日の当日に王冠をかぶって過ごすことが出来るんですよ」と教えて下さいました。

一人ひとり、誕生日は違うからこそ、その子の誕生日にみんなが「おめでとう！」と祝ってあげられる環境を用意したい、そんな思いが以前からあったそうです。そして、それだけでなく、王冠も好きな王冠を選ぶようにと、色々な個性をもった王冠が飾られていました。

子どもたちに個性があるように、大人たちも個性がある。だからこそ、いろんな人たちが作った王冠を飾ろうということで、職員の皆さんがそれ

ぞれの個性を表現しながら作り始めたそうです。

そんな暖かな思いやりの心から生まれた実践は、子どもたちの自己肯定感を育てると同時に、それを作る先生方の個性を認め合う実践ともなっているようでした。

「祝ってもらえてうれしい!! 選んでうれしい!!」「祝えてうれしい!! 選んでもらえてうれしい!!」

大人にも子どもにも園にも善い、そんな素敵な真心の実践を私たちも作り出していければと思います。



理念が詰まった王冠ツリー

子どもの視点

福岡県の市内にある、いと保育園様にお伺いしました。

園内を見学させていただくと、環境を通して子どもたちの発達を自然と促されていく工夫がたくさん用意されていました。その中の一つに、ランチルームのテーブルに置かれていた花瓶があります。花瓶といえはお花が飾られますが、中に入っていたのは野草でした。主任の武内先生にお話を伺うと、初めはお花屋さんから購入した花を飾っていたそうですが、花は次第に枯れ始め、いつしか花瓶の中は空っぽに…。そのような繰り返しに気が付いたことがきっかけなのか、子どもたちは自ら園庭やお散歩に行った時に「これ飾ろう！」と野草を持ち帰るようになり、今ではそれを飾るようになったのだそうです。

大人の視点から見れば、花瓶には見栄えの良い綺麗な花



子どもが摘んできた野草を飾るようになってから、水替えも率先してするようになりました。

を飾りたくりますが、子どもの視点に立ち、それが何のためかと考えるからこそ、このような姿がある。それと思うと、これは子どもの気持ちを大切にしたい、とても素敵な実践だと感じました。

花瓶に飾られた野草を見て、摘んできた子どもは嬉しそうに微笑み、周りの子たちも「何これ?」と言いつつ、「自分も飾りたい!」と言いつつ、いつの間にか、草花を摘んでさりげなく飾り食卓を彩ることで生まれる心の豊かさを皆で分かち合っているとのこと。私たちも、そんな園様のような素敵な視点を大切にしていきたいと思います。

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。



バスの車窓から見た...
見送ってくれる仲間の姿

早朝のサプライズ
先日、福岡出張のため空港行きの高速バス乗り場でバスを待っていました。その日の朝はとも早く、時刻は5時45分。まだ寝ぼけ眼で、バス停に立っていると、「おーいー」と呼ぶ声とともに、仲間のクルーが登場！普段、こんなに早い時間帯に仲間に会うことはあり

ません。その予期せぬ登場に、とても驚いたのですが、そのクルーはなんと！毎朝行っている朝練のジョギングコースを変更して、バス停まで見送りに来てくれたのです。

出発までの間、ほんの少しだけ話をして、「いつてらっしゃい」と見送ってくれました。わずか10分足らずの出来事ですが、そこに真心を感じ、沢山の温かさで心強さを貰いました。

仲間からの大きな見守りに感謝しながら、自分もまた仲間を温かさで包む存在でありたいと感じています。



10年間の感謝を込めて
表彰状を手渡します。



満面の笑みを見せるクルー



表彰状「10周年恩徳状」

10年間の感謝

この7月であるクルーがカグヤを勤めはじめ勤続10年を迎えました。感謝を込めてそのクルーのお祝いを行いました。そのクルーにとってはじめて就職した会社がカグヤであり、これまでを振り返り本人は、「賞状を頂き皆さんから、10年というのはいすごいことだよ！とお声掛けを頂きましたが、すごいのは私ではなく皆さんであり、会社であり、お客様だと感じています。ここまで見守って頂いたこと、こんな有難い会社に出

めさせて頂いていることを今日、誇りに思いました。改めて自分自身の初心を振り返る機会を頂きました」と言います。
勤続10周年を祝して、弊社代表より表彰状が手渡されました。受け取った時に見せたその満面の笑みに、私たちも自然と笑みがこぼれ、温かな雰囲気の中のひと時をともに味わいました。
この節目をクルー全員でお祝いできることに感謝し、いつも見守られていることを忘れず、日々新たな挑戦をしていきたいと思えます。

塩むすび

クルーのひとりが体調を崩し、大好きなお弁当も辞退するほどに。聞けば前日の夜から胃痛と吐き気がひどく、何も食べられていないとのこと。

するとカグヤ一家の当主、お昼もそこにカフェスペースで何やらやり始め。その手には、まん丸の塩むすびと玄米茶がーそのビジュアルはまるで「元氣になくれ」と言っているようです。不調のクルーもその楽しい雰囲気



これぞ元氣モリモリ
塩むすびセット!!



当主の深い愛に、弱った
身体も心も癒されます。

一期一会庵

「根のある生き方
もつたない存在」

〜もつたない存在〜

先日、石見銀山にある群言堂本店に訪問し代表者である松場登美様と御縁をいただくことができました。その中で私がもつとも感銘を受けたのは「暮らしの基本」のお話です。『そもそも人間に与えられているものには宗教、哲学、芸術があるといえます。そしてそれは全て暮らしの中に存在しているのです。その暮らしの基本として感謝する気持ちが宗教であり、哲学は学問ではなく美しく生きることであり、芸術は子どものようにアーティストであることだといえます。そして暮らしの中に長い間培われた文化が如何に美しいかを思い出すことが大切であるといえます。そして常に判断のモノサシは「正しいかどうかよりも美しいかどうか」を優先することです。』と仰っていました。私たちが本来持つていた暮らしはどこから分断され今では経済優先、効率優先、お金ばかりで「もつたない」の意味もすり替えられている気がします。そのため本来の「もつたない」も「御縁をつむぐ」というよりも、何でも私物化し単に「貧乏

思わずパクリ。おつきな笑顔がこぼれま

それは会社とか社員などという関係を越えた、まさに家族への愛。優しさでにぎられたおむすびは、食べたクルーだけではなく、その場にいた全員の心も優しさで包んでくれました。

編集後記

今月もご愛読いただき、誠にありがとうございます。暑い日が続きますが、皆様お身体にお気をつけてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本 社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)